

同窓會報

會告

大正四年三月廿二日を以て新に會員となられし諸君は養蠶科卅三名製絲科卅一名に有之候

二

本會の基礎を強固たらしむるに經濟上の基礎の確立に待つや甚大に候然して其之を致す所以のものは一に會員諸君の一致協力によるは言を俟たず候。然るに會員諸君中寄附金會費等の拂込に於て甚怠慢に流るゝ傾あるを見るは本會將來發展の爲め憂懼の至に御座候習は性となるの諺は欺かざる教に候第一歩が既に吾人の進路を決定する最大要素に御座候。先憂後喜の諸君我會の諸兄を離れて否諸兄中一人を離れても存在し得るものならざるを深く御考察の上吾會の爲め母校の爲め極力御盡瘁あらん事を切望してやまず候

三

同窓會費及三吉先生銅像鑄造費寄附金拂込一覽は別欄に記載致置候間御覽被下度候尙未だ御送金無之諸

兄は會計整理上甚不都合を感候へば此際至急幹事迄御送金被下度願上候

四

會員諸君の御動靜御消息はやがて我等が社會に於ける活動をトするものに有之候且つ諸君に於ても同胞の活動狀態如何は御互に御承知相成度き事と存候故右報告中會員の動靜は重なる一項と相成居候も時に伺洩れ等無きを保し難く斯くては甚遺憾と存せられ候間諸君の御動靜は勿論時折の各地の狀況さては様々なる御感想等御通報被下度希望致候

五

過る一月下旬御手元に致したる本會規則は早卒に制定致したるヶ所も有之従つて訂正致す可き條項等も可有之候會員諸君中よりも有益なる意見を寄せらるゝ方も多く之一に本會の隆盛を計らんとする熱誠に出づる事と深謝する所に御座候。本年度總會に於て諸君の御參會を期して之等訂正改廢の條項充分研究の後完全なる規則の下に本會の基礎をして益々確固不拔たらしむる考に候へば諸兄に於ても充分御考置き被下度御願申置候

六

一度住み慣れし上田の里、母校を背にして道遠き活動の野に足を入るゝや、香花明月思はやがて上田の空、母校にかへるは吾も人も等しき事と存候。母校に於ける恩師の御動靜愛弟が活動振實驗室より生ま

る、新研究報告等思はそれからそれと止度もあく流るゝものに候はん。従つて之等の事共につきては出來得る限り諸兄が御希望に應ずる考へに有之候へ共研究の報告等に就きては未完成に屬するもの甚多く従つて遺憾ながら諸君の希望に應し難き事も有之候。既に成績の纏まりたるものは時機を選びて諸兄が御希望に應ず可く候へば左様御諒承被下度候尙御參考に本校化學實驗部に於て行へる試驗研究報告は東京化學會誌(神田表神保町東京堂發賣定價一部郵税共參拾壹錢)及農學會報(博文館發賣定價廿錢)に掲載せられ候間爲念御知らせ申上候。今既に發表とありし試驗研究中其主なるものを左に記申候特志の諸君は直接該雜誌御購讀かされん事を申添候

農學會報掲載報告

報 文

著 者 雜誌番號

桑に關する二三化學的研究に就て

川瀨教授 一三九

家蠶營養に關する熱量的研究

川瀨教授 一四四

櫻島降灰に基く養蠶被害の調査及五眠蠶の發生に就て

川瀨教授 一四七

生皮芋油燒成因及豫防 (一)

井上教授 一四九

生皮芋油燒成因及豫防 (二)

井上教授 一五〇

作物收量計算に於けるリウムカー、アレキサンドロキツチ法並に其養蠶學上に於ける應用につきて

田中長三郎 一五二

アイランタス及タイリング蠶絲の全部及一部加水分解

エミル、アアデル
ハルデン
井上教授

三四ノ十二

ランベジイ繭の組成附家蠶絲及野蠶絲の化學的組成上の差別

井上教授

三四ノ十二

繭の種類及品質と化學的成分との關係

井上教授

三六ノ一

其他尙研究中の『アミノ酸添食と成繭の品質との關係』『溫度とセリシンのメルチングクオンチチイとの關係』『蛹より得たる滋養營養素』（之に就きては之が製劑販賣に關して特許出願中にて近々特許權を得る事と存候）及尙未完成に屬するものも多く有之候

八

會員相互の音信消息各個人間の往復等によつて互に胸襟を開きて語るの期の多からん事は等しく切望する所に候も『一人にて馬を水邊に伴ひ行く事は得可し十人にて馬に水飲ましむる事能はず』とは眞なる諺に候只各個人の自覺と自重による外は無之候一部の熱誠はやがて徒勞となり易きものに候。望むらくは信愛ある諸君活社會に於て味はれし活教訓活修養さては私的に屬する、如何なる事も飾らず包まず通報さるゝに吝ならざらん事を。尙一度足を信山に入れられし折も有之候はば是非母校を訪はれん事をかくして母校諸教官と生等會員生等會員と母校愛弟生等會員相互の間に春の水のそれならで温情密よりも細やかなる流の滾々として盡きざるを見得可くと存候。嗚呼實に生等が母校に於ける連鎖は區々たる

偏見罵詈譏諺によりて切斷さるゝには餘りに強固なるものと確信致候又然あらねばならぬものと存候

九

三吉先生銅像鑄造費寄附金養蠶科卒業生の分の會計係宮川寅之助君突然病死致されし爲め同氏生前中左記諸君より同氏宛御送金になりし金圓合計九圓(外に校友會費拂込の分七圓あり)不足致候。何れ總會の節之等詳細につき御話を致す可く候左に右諸君の氏名と金額を記し申候

向山隆福、牛山作彌、矢澤茂登一、山本辰五郎、牧野金治郎、酒井末吉、清水達太郎、森干城、菅澤隆三、合計九名金九圓也(以上三吉先生銅像鑄造費寄附金の分)

向山隆福、牛山作彌、山本辰五郎、牧野金治郎、酒井末吉、水野米太郎、菅澤隆三、合計七名金七圓也(以上校友會費の分)

全部合計金拾六圓也(不足)

外金參圓五拾八錢五厘也(原田兵衛氏より宮川寅之助氏に引續の分不足)

合計金拾九圓五拾八錢五厘也(不足)

右金は不可抗力の欠損として計上致置候間左様御承知被下度候

十

昨年末諸兄より御通報被下候母校教授實驗實習等に關し活社會の人として感得せられたる御高見は之を

校長に致し所志の貫徹を可計候此後共時々斯の如き痛切にして有利なる御高見を御通報被下度切望致候
宮川寅之助氏の香典料は一時校友會費中より借用致置今回同窓會費中より支拂申候當時二三の諸君中宮
川氏香典料として送金せられ候も既に同窓會設立致し候上は該寄送金を同窓會費中に繰入候間左様御承
知被下度候

同窓會新會員氏名 (第二回卒業生)

養 蠶 科

(いろは順)

今井田福雄	幾田精一	飯島正胤	磯野良知
濱井壽夫	林新一	西村敬之助	穂坂小牧
堀本省一	朝長勝治	戸倉八峰	小川保
小高喬	小笠原安重	大石卓壽	唐澤正平
中山清四郎	久保田秀男	倉澤美徳	黒江文雄
矢島剛	藤原卓之	小林國造	小澄晋
小島五郎	小松原徳治	有賀亮敏	佐藤良太郎
坂田榮雄	北村一郎	北澤茂	宮坂正彦

須田圭二

製

細川三郎

沖 濤治

蒲池 深

塚田 鎮磨

中川 瀾

兒玉 忠雄

坂卷 文彦

見波 忍

絲 科

戶田勝一

若林萬吉

田浦 準

坪井作平

向山紀元治

小山健次郎

岸 益吉

樋口五十三

大崎忠一

甲斐 肇

高尾 巖次

土屋保平

栗原忠夫

佐藤 薰

湯淺長輝

鈴木鍊一

大箸政平

甲斐 致

竹内眞喜雄

永井 榮

矢田部忠吉

佐々木峰二

宮田鐵五郎

